年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年 4 月 27 日
● 事　業　名　：「おかやま子ども基金(仮)」創設を核とした子どもの虐待・貧困等 0 を目指すオール岡山体制構築事業
● 資金分配団体　：特定非営利活動法人 エティック
● 実 行 団 体　：特定非営利活動法人岡山 NPO センター
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
民間の支援組織による各種サービスや支援組織が活用する各種制度が明らかになっている。	岡山市内の支援組織の実態調査数 同支援組織が活用する制度の調査数	20 以上／支援組織の支援サービスとその実態が明らかになっている。 5 以上／必要な数だけ制度の対象や要件などが整理されている	2021 年 3 月	・2021 年 3 月に「困難を抱える子どもの支援に関する緊急アンケート」を岡山県内 NPO 法人 337 団体対象に実施、26 団体において現在実施されている支援内容について整理済み。 ・岡山県内 27 市町村のウェブサイトを調査し、約 1,200 の支援制度について申	2

				請先と申請要件等を整理済。 ・基金として岡山市子ども･若者応援パートナーズ(MDPs)に参加し、2021 年度下半期よりネットワーク参加行政および民間団体の支援マップを作成した。 ・2022 年 1 月、岡山 NPO センターの機関誌へ同封する形で「システムへ掲載する情報提供のお願い」として県内子ども支援団体からの情報提供を呼びかけ。2 団体から 4 つの窓口情報が寄せられた。今後も便に合わせて都度情報提供を呼び掛ける予定。 ・岡山県内の自立援助ホームどうしで情報交換を行う連絡会議を 4 回実施。必要な情報や支援について検討を行っている。	
民間の支援組織がどのように支援先のアセスメントを行うか、その相談対応や観察のノウハウを集約したアセスメントシートが完成している。	アセスメントシートの数	１以上／各種の制度要件や各種サービスの対象への適合を確認できる合同のアセスメントシートが存在している	2021 年 3 月	・2020 年 9 月、2021 年 1 月の 2 回、他地域において生活困窮者や子どもへの支援を行う団体から講師を招き、支援者を対象とした「アセスメント研修」を実施。アセスメントの重要事項、留意点等について検討を行ったが、具体的なシートの作成には至っていない。	2

				・「KOTOMO 基金への活動報告」フォーマットを作成。個別の相談対応やその記録を蓄積している。今後、基金からの配分を受けた団体との間で内容について検討を行うことを予定。 ・各団体の組織支援及び事業支援へも着手し、支援方針作成や成果検証の体制も整えながら伴走支援を行っていく。	
民間の支援組織が、支援先の状況にあわせて支援先の状況にあわせて各種の制度要件や民間の各種サービスを効果的に活用するために、各種の制度要件や各種サービスの対象への適合を確認できるデータベースが完成している。	オンライン上のシステムの存在数 同システムを活用する組織の存在数	1 以上／システムが存在している 10 以上／システムを活用する組織が 10 以上存在	2021 年 3 月	・システム構築へ着手し、現在はデモサイトの操作性や使用感の確認を行っている。先に調査した支援制度やサービス情報を搭載し、10 月ごろより支援者にも触ってもらい、使い勝手等のフィードバックを得た。 ・年度内に条件検索が可能になる計画であったが、技術的な面で稼働が遅れている。2022 年 4 月に条件検索ができること、2023 年 3 月までに検索内容から最適な制度を抽出する AI 的な動きが実現できるよう開発を進めて行く。 ・運用開始には至っていないため、現時点での利用者はいない。	3
夜の仕事に充実する親と	当事者となる親	２０以上／ニーズが把握	2021 年 3	・2020 年 12 月～2021 年 1 月「【コロナ	2

子など、支援が十分に届いていない分野について、ヒアリング調査により実態が明らかになると共に、それに対する支援策が検討されている。	へのヒアリング数 当事者の関係者へのヒアリング数 支援検討会の開催数	できている 5以上／状況が把握できている 5以上／支援策の検討ができている	月	禍・緊急アンケート】夜の街で働く親の生活実態調査」を実施し、65件の回答を得た。 http://www.npokayama.org/oyakoshien/ ・回答者のうち1名へ対面でのヒアリングを実施した。 ・調査及びヒアリングの結果をもとに、支援団体(行政、企業、NPO等)による報告会を開催。具体的な支援策について検討を実施。その後2021年4月より「夜支援の会議」を定期開催し、個別ケースについて検討を進めた。 ・支援対象者へ向けた「相談できる窓口の情報」をまとめて1枚もののチラシを作成した。	
夜の仕事に対するヒアリング調査などの結果を受けて、具体的な支援策の開発に着手している	開発に着手する支援策の数	1以上／開発に複数組織の合同で着手している	2021年3月	・上記調査結果を踏まえ、拠点を運営する支援者（岡山市、倉敷市水島の2拠点）と、支援モデル形成を目的とした検討会を実施。これまでに3回実施し、対応した個別ケースの蓄積をしている。それらをもとに、支援の要点整理をおこなう予定。 ・実際の支援は、アライアンスに加わって	2

				いる団体等と連携しながら対応し、より円滑に連携できる仕組みづくりのための足掛かりとしている。	
民間の支援組織を支える基盤的な資金としての寄付集めを支援するサポーターが存在している	サポーターの人数	１００以上／サポーターの人数	2023 年 3 月	下記に記載の「KOTOMO 基金（こども基金）」を設立し、そこへの寄付実績は以下のとおり。(2022 年 3 月 31 日時点)個人･法人　計 256 件／743 万 8,874 円　寄付者自身がさらなる寄付者を集める「サポーター」となるためのコミュニティづくりを実施中。 ･最終年度は支援者のネットワーク･基盤を広げていくため、NPO 法人ハレハハとの協働を通じた基金のコミュニティづくりの強化していく。	2
民間の支援組織を支える基盤的な資金を支える仕組みが立ち上がっている	基金等の仕組みの数	1 以上／基金などの仕組みの数	2023 年 3 月	2021 年 5 月 26 日、株式会社山陽新聞社並びに社会福祉法人山陽新聞社会事業団と「子ども支援プロジェクト『KOTOMO 基金』に関する覚書」を締結し基金を設立。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
ほぼすべての打合せ・研修会等についてオンライン上での実施を徹底している。 今後も感染拡大の状況を見つつ、現地＋オンラインでのハイブリッド開催等を検討していく。 イベント開催時の定員制限(報告会)

② 広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している ☑報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） <山陽新聞紙面> ・2021 年 05 月 27 日(木)朝刊記事「子ども支援基金創設」寄付募り民間団体に配分 https://www.sanyonews.jp/article/1134715 ・2021 年 06 月 24 日(木)朝刊記事「つながりのあした　ウイズコロナの時代に　第 4 部　持続へ　⑩未来への礎」

電子版の公開なし
・2021 年 09 月 01 日(水)朝刊記事「貧困の子ども、家庭支援　KOTOMO 基金に 20 万円寄付　YMCA せとうち」
電子版公開なし
・2021 年 11 月 04 日(木)朝刊記事「KOTOMO 基金創設半年　個人・法人寄付 380 万円 6 日報告会」
電子版公開なし
・2021 年 11 月 07 日(日)朝刊記事「5 月創設 KOTOMO 基金報告会　困窮世帯や不登校児の支援紹介」
https://www.sanyonews.jp/article/1193660/
・2022 年 03 月 04 日(金)朝刊記事「虐待防止へ民間資源活用を提言　KOTOMO 基金活動報告会」
https://www.sanyonews.jp/article/1235399　(会員限定)
・2022 年 03 月 05 日(土)朝刊記事「困窮支援に役立てて　KOTOMO 基金、いのちの電話協へ　岡山 RC150 万円寄付」
電子版公開なし
＜メディアでのご紹介＞
・2021 年 07 月 04 日　ほいらく
「貧困・DV から子どもを救いたい！KOTOMO 基金とは【インタビュー】」
https://youtu.be/rrPKu1K7rvE
・2021 年 07 月 05 日　ほいらく
「KOTOMO 基金とは？発足した背景から主な支援内容までを徹底解説！」
https://hoiraku.jp/parenting001/
・2021 年 07 月 07 日　こそだてぽけっと
「岡山の子どもを一人も取り残さないために！KOTOMO 基金」　(ほいらく様紹介記事)
http://www.okayama-tbox.jp/kosodate/pages/50309
・2021 年 08 月 10 日　NPO 法人 ETIC.
「まちづくりや子ども支援の分野から拓く横断型子ども福祉のコレクティブインパクト。～自然治癒力の高い地域を目指して～」

https://drive.media/posts/31024

・2021 年 11 月 04 日　岡山経済新聞

「岡山の『KOTOMO 基金』が初の活動報告会　貧困家庭の子どもを考える」

https://okayama.keizai.biz/headline/1301/

・2022 年 03 月 04 日　TSC テレビせとうち

「生活困窮世帯への支援に役立てて　岡山南ＲＣ　KOTOMO 基金に支援金贈る【岡山・岡山市】」

https://www.webtsc.com/prog/news/news/13496/

上記以外に、朝刊紙面への 5 段広告及び、戸配の生活情報誌「さりお」へ都度広告を掲載(キャンペーンの一環として山陽新聞が実施)。

・KOTOMO 基金チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCtYRcu7rcZWFd74VnZx_TIA

2.報告書等

・夜の街で働く親の生活実態調査　http://www.npokayama.org/oyakoshien/(速報版公開)

・夜の街で働く親と子への支援モデル事業開発と県内における支援ネットワーク拡大事業　報告書(公開なし)

3.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

＜YouTube＞

・2021 年 05 月 29 日(土)　キックオフイベント

https://youtu.be/1ezfG5cUO6A

・2021 年 11 月 06 日(土)　KOTOMO 基金　第 1 回活動報告会

「子どもたちの孤立を防ぐ支援の現場」　～長引くコロナ禍。子どもを取り巻く不条理をどう無くすか～

https://youtu.be/g1pwKJNEYxM　※寄付者・参加者・基金参加 NPO 限定公開

・2022 年 03 月 03 日(木)　KOTOMO 基金　第 2 回活動報告会

「虐待事件からの提言を受けて必要な支援について考える」

https://youtu.be/yML8P1pj26Q

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☑ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか

☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：当団体の「コンプライアンス委員会規程」では定期開催について定めていないが、必要に応じて開催する体制となっている。
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）